

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：新潟島は宝島!? 歴史的建造物の魅力再発見！

事業者名：新潟市歴史博物館

住所：新潟市中央区柳島町2-10

TEL：025-225-6111

FAX：025-225-6130

HPアドレス：<http://www.nchm.jp>

連携事業者名：新潟大学旭町学術資料館、新潟県政記念館、
燕喜館、北方文化博物館新潟分館、
新津記念館、砂丘館、安吾 風の館

会場：新潟市歴史博物館 他

事業期間：平成22年6月1日～平成23年2月28日



1. 館の使命と本事業の関係

当館の敷地には、重要文化財の旧新潟税関庁舎や登録有形文化財の旧第四銀行住吉町支店などの歴史的建造物が立地する。これらの歴史的建造物を保存・管理し、活用することも当館の役割の一つである。

歴史的建造物は、地域の歴史を伝えるモニュメントとなり、また、街の個性ある景観をつくる。当館が、率先して地域に現存する歴史的建造物の価値や資源性を市民に気付かせる本事業を実施することは、新潟市を代表する歴史的建造物を管理するものとしての使命でもある。そして地域に残された歴史的建造物の価値に市民が気付き理解していくことにより、地域の魅力ある文化財として、永く保存・活用されていくものと考えられる。

2. 企画内容

①事業目的

新潟市の中心市街地が所在する（通称）新潟島を対象エリアとし、そこに存在する歴史的建造物について、市民自らが実見・調査・データの取りまとめ・発表という一連の作業を行う。それを通じて、活動に加わった市民とその成果を享受した市民がその価値や魅力を再認識し、理解を深めることを目的とする。そして、その活動成果を、建造物の保存・活用、まちづくりに活かすための礎とする。

②事業概要

対象エリア内に点在する歴史的建造物を市民自らが実見・調査し、伝えたい見どころや魅力をまとめ、ポスターセッションや報告会で発表した。また、その成果を報告書にまとめ、それを地域の歴史・文化・観光資源となる歴史的建造物を知るための手引書として関係施設・機関に配布し、また希望者にも無料配布している。

なお、以後の活動の参考にするため、市民の実見・調査に先立ち、建築専門家による講演会を実施した。

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

○**第一回全体会議 (6/23)** 連携館、関係団体が出席し事業の趣旨・目的・活動内容を確認した。

○**講演会 (7/31)** 広く市民に向けて事業を告知し、専門家による関連講演を行い、事業を実施する上での予備知識や情報を共有した。

〔講師〕 平山育男氏（長岡造形大学教授）

〔講師〕 岡崎篤行氏（新潟大学准教授）

○**第二回全体会議 (8/7)** 第一回の出席者に加え、建物現地見学会への参加者も含めて、作業についての共通理解を得た。

○**建物現地見学会① (8/28)** 下町地区の3つの歴史的建造物を対象として現地見学を行った。

○**建物現地見学会② (9/4)** 西大畑地区の4つの歴史的建造物を対象として現地見学を行った。

○**建物現地見学会③ (9/25)** 白山地区の4つの歴史的建造物を対象として現地見学を行った。

※3回にわたる建物現地見学会では、講師が建物の構造や歴史などについて紹介し、参加者は現地見学で感じた建物の価値や見どころなどの調査結果を見学シートにまとめた。

○**第三回全体会議 (10/2)** 建物現地見学会で参加者が記入した見学シートの取りまとめ方や、報告会、ポスター展示に向けた作業方法について意見を出し合った。

○**ワークショップ (10/16)** 第三回全体会議で決定した作業方法に従って、これまでの見学シートに寄せられた情報を絞りこむ作業を行った。

○**代表者会議1 (12/2)** 現地見学会・ワークショップ参加者の中から代表者を選出し、ワークショップで絞り込まれた情報をまとめる作業を行った。

○**代表者会議2 (1/8)** 報告会、ポスター展示に向けての確認作業を行った。

○**報告会 (1/15)** 歴史的建造物の保存と活用に関する講演と、活動参加者代表による活動の成果報告を行った。

○**ポスター展示 (1/15~4/4)** これまでの活動の成果をまとめたポスターを市内8か所で巡回展示した。



講演会 (7/31)



建物現地見学会 (9/25)



ワークショップ (10/16)



報告会 (1/15)

(2) 参加者の数

参加者人数 延べ 358 人 (ポスター展示見学者は含まず)

内 訳：講演会参加者 104 人、報告会参加者 82 人、

建物現地見学会参加者 延べ 72 人 (全 3 回)

全体会議・ワークショップ・代表者会議 参加者 延べ 100 人

(3) 事業により作成した印刷物等

○事業報告会・ポスター展 開催案内チラシ

○報告書「新潟島は宝島!? 歴史的建造物の魅力再発見！」

(4) 実施事業に関する新聞記事等

○新聞記事

- ・新潟日報 8月4日 朝刊
- ・新潟日報 1月18日 朝刊
- ・新潟日報 3月11日 朝刊

○関連誌等

- ・新潟市中央区だより 2月6日号



事業報告書

地域の宝を見つめ直そう
新潟島は宝島!? 歴史的建造物の魅力再発見!

みなごのあふあふ新潟市歴史博物館では、文化庁の美術館・博物館活動基盤整備支援事業として、地域の宝である歴史的建造物の魅力を再発見する活動を行っています。今号ではその活動の様子をご紹介します。皆さんも地域の宝物を見つめ直してみませんか?

自分たちで調べ
広めよう

地域の歴史・文化を知ることは、地域の価値に気づき、地域を対峙し誇りを抱くことにつながります。また、歴史的建造物のたすまいは、地域の魅力的な景観をつくり、それが地域の特色になっています。

みなごのあふあふでは、市民自ら、通称新潟島に集まる歴史的建造物の見学・調査を行い、その成果を市民に報告することによって、互いに歴史的建造物の価値や魅力を再確認し、理解を深めてもらうという参加者を募集しました。

自分の目で確かめて
建物現地見学会

歴史的建造物について、自分の目で確かめることが大事ということで、延べ72人の参加者が、下町エリアと西大塚エリア、白山エリアの3つのコースに分かれ、現地見学会を行いました。

活動の成果を
市民の皆さんに披露

1月15日、クロスバルいがたで、これまでの活動の成果の報告会が行われました。初めに、建物現地見学会の時に案内人となった山崎定一さんから新潟市の歴史的建造物の保存と活用について話がありました。

その後、3つのエリアの代表者が自分の調べた歴史的建造物の魅力を語り、その魅力を伝えるための活動について発表を行いました。参加者は建物を見学したときや、ワークショップで学んだことを、ワークシートに記入しました。その後、報告会に出席した、それぞれの建物について、内容をまとめる作業を各エリアごとに行いました。

具体的な事例をもとに、と題した講演があり、その後、3つのエリアの代表者が自分の調べた歴史的建造物の魅力を語り、その魅力を伝えるための活動について発表を行いました。参加者は建物を見学したときや、ワークショップで学んだことを、ワークシートに記入しました。その後、報告会に出席した、それぞれの建物について、内容をまとめる作業を各エリアごとに行いました。

多くの人に伝えたい!
パネル展を開催

歴史的建造物の魅力をもっと多くの人に感じ取ってもらうために、一連の活動の成果をまとめたパネル展を開催し、4月4日までの間、下表の日程で展示を行っています。ぜひ、ご覧くださいます。

地域を宝に見つめ直そう

区内ではこうした事業やまち歩きなどの取り組みが行われていて、参加した人からは「歴史を学ぶ機会がもたらした視点の広がり、1歩踏み下げて調べてみると、興味深いものが多い」という感想をたくさん聞くことができます。

「百聞は一見にしかず」

新潟島は、まさに「宝島」

西大塚には砂丘館などの魅力的な建造物がたくさんあるので、以前から興味がありました。個人的に見学に行ったこともありましたが、今回は専門家の話を聞ける貴重な機会です。特に旧齋藤家別荘はまるで別世界のようで、新潟市にもこんなところがあったのかと驚き、一番印象に残りました。もともと歴史に興味を持ち、新潟市の魅力に対する見方も変わっていくのではないかと思います。

西大塚エリアに参加した金子成子さん

●パネル展示日程

期間	下町エリア	西大塚エリア	白山エリア
2月13日(日)まで	旧新潟税関庁舎	砂丘館(旧日本銀行新潟支店)	県政記念館
3月5日(土)～13日(日)	旧新潟税関庁舎	北方文化博物館新潟分館	あさひまち展示館
3月17日(木)～22日(火)	ふれ愛古町	イベントスペース(旧大和1階)	
3月23日(水)～4月4日(月)	NEXT 21 1階アトリウム		

というご報告もありませんが、皆さんもぜひ地域の宝物を見学し、足を向けてみてください。

また、本紙から参加者が調査した歴史的建造物をご紹介します。

『新潟市中央区だより 2月6日号』

4. 事業の成果及び今後の課題（参加者の意見を含む。）

一連の事業を通して、多くの市民が参加し、歴史的建造物の見方やその保存について考え、意識を高めることができたことはこの事業の最大の成果といえる。また、招聘した専門家からは、新潟の歴史的建造物の現存率の高さを指摘してもらい、これまで市民が意識していなかった、建物に残された新潟の歴史を考える契機ともなり、今後の市民主体のボランティア活動やまちづくりにおいて積極的に活かされることが期待できる。

本事業のメインである、市民参加の歴史的建造物現地見学会においては、参加者の多くからは、これまでと違う視点で建物を見ることができたことや、知っているようで知らなかった建物と街の歴史を知ることができたことなどが感想として述べられ、この活動が参加者に新たな視座を加えることができたことがわかる。

事業全体を通して、事業主体の異なるさまざまなタイプの文化施設と連携し活動できたことで、地域の文化活動において、今後の連携も強化されることが期待され、さらに、本事業に加わらなかった施設についても、今回のノウハウによって、今後円滑に連携を進められるものと思われる。

一方、今後の課題としては、今回対象としなかった歴史的建造物へも視点を広げていくことである。今回は、新潟市中心市街地に現存する歴史的建造物で、一般に公開されている施設に限定した。そのため、対象地域が限定されたことに加え、個人所有の住宅や商家、寺社などの歴史的建造物は、対象から外れた。今後は、新潟市域全体にエリアを広げ、市民とともに歴史的建造物全体を包括的に考える取り組みを提供すべきであると思われる。

建物見学参加者記入シート

2010年 9月 6日 (記入者: XXXXXXXXXX)

建物: 北方文化博物館新潟分館

明治28年頃、木造瓦葺二階建。明治末期に六代伊藤文吉が別邸として購入。主屋は明治28年頃に建てられた。一部二階建の和風建築。外観は質素であるが、内部は洗練された数寄屋風の造。庭園は枯山水。洋館は、昭和3年の建築。木造二階建て主屋につながり。外壁はドイツ風モルタル塗、建具や天井蛇腹に昭和初期の造形が見られる。土蔵は大正4年築。切妻造で妻入、桧瓦葺二階建。観音扉を設けた表面に下屋敷を設け、他の三面の一部部分外壁を海鼠壁、上部は白漆喰塗とする。〔登録有形文化財〕

歴史的建造物を有する当館の特性も踏まえ、市内の歴史的建造物の保存と活用に積極的に関わっていくことも当館の使命であり課題であるとの認識を新たにしました。

建物見学参加者記入シート

2010年 9月 4日 (記入者: [redacted])

建物：北方文化博物館新潟分館

明治28年頃、木造瓦葺二階建。明治末期に六代伊藤文吉が別邸として購入。主屋は明治28年頃に建てられた。一部二階建の和風建築。外観は質素であるが、内部は洗練された数寄屋風の道。庭園は枯山水。洋館は、昭和3年の建築。木造二階建て主屋につながる。外壁はドイツ風モルタル塗、建具や天井蛇腹に昭和初期の造形が見られる。土蔵は大正4年築。切妻造で表入、椋瓦葺二階建。観音堂を設けた表面に下屋敷を設け、他の三面の一部部分外壁を海鼠壁、上部は白漆喰塗とする。(登録有形文化財)

[1]あなたが伝えたい見どころ・おもしろいと感じたポイント

ポイント	理由
数えまつての和風民家 作風	数寄屋風の作風あり。洋館あり。別棟(倉庫)上蔵など。明治大正、浴衣と洋服を思わせる。
洋館は洋風建造物 (Hibiya文化施設主)	内側から一見して洋館であるが、実際は縁起の良いもの。 居敷右側の元金中宗室館のあかしとある縁起の良いもの。温厚な感じ。 (レトロ製造の推測は裏面Xで確認)
蘭子の休息室	洋館隣接に大井出くさる2階建てがある。この蘭子の起居し、会客の お部屋なども使われていたという。 奥に通じるドアがあり、書斎や書庫などの通称は奥の間とは呼ばれていたという。

(撮影した写真があれば、e-mailで送ってください。)

[2]あなたが知っている、この建物に関わるエピソード

近頃は江戸時代に入れば江戸にある。左側は伊藤家、右側は会館の一用である。
正確には江戸時代に入れば江戸にある。江戸時代に入れば江戸にある。江戸時代に入れば江戸にある。
江戸時代に入れば江戸にある。江戸時代に入れば江戸にある。江戸時代に入れば江戸にある。

[3]建物に関連する建築前後の新潟の情勢

明治28年頃；29年日清戦争勃発。同年は富山県に軍事防衛要港。29年防衛野村省決意。同年は富山県に軍事防衛要港。同年は富山県に軍事防衛要港。同年は富山県に軍事防衛要港。
同年、29年頃の大地震も災い。新島流行。市民(学生)も被害を受けた。被害を受けた。被害を受けた。
重要建築物の損壊、破壊があった。

[4]あなたが感じたこの建物の価値・意味

築115年ほどあり、その間にも何度か修復され、その歴史は長い。又、江戸時代から明治時代までの
建築様式の変化が詳細に見られ、数寄屋風、内装もまた江戸時代から明治時代にまで遡れると思ふ。

[5]その他、自由にお書きください。

西大畑地区の建築物群と西海岸の建築物群との交流の歴史を組み合わせることで、新しい歴史を創り出すことが可能になると思ふ。

[6]この建物の特徴を一言で表すと… 建物のキャッチフレーズまたはキーワードを考えてください。